

つれづれの記

「^{ようか}養花一年、^{かんか}看花三日」

校長 保田 完次

1年生226名、2年生247名、3年生231名、計704名で本校の21年度がスタートしました。今年度も『磨く』をキーワードに、また、『汝、何のためにそこに在りや』を問い続けながら子供たちの着実な成長を願い、教職員一丸となって教育活動にあたる所存ですので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、「養花一年、看花三日」である。春になって、これからいろいろな花を楽しめるようになると思い出す言葉で、一年の丹精によって育てた花も、見るのはわずか三日である、という意味である。だが、人はこの三日のために、喜んで一年の努力・丹精を惜しまない。しかも一夜にして無情にも春風に吹き散らされることも多いのである。いや、はかなく、もろく、いくばくもなく散るからこそ、人は花を愛（め）でるのかもしれない。

よく考えてみると、私たちの営みは「養花一年、看花三日」に集約されるのではないだろうか。もっと極端な場合もありそうだ。去年の北京オリンピックで金メダルに輝いた北島選手の場合は、「養花四年、看花186秒」（100平、200平決勝タイム合計）ということになるし、陸上の400Mリレーは、「養花四年、看花38秒」となる。日本中を沸かせたソフトボールは「養花四年、看花6時間」（決勝までの試合時間合計）となる。わずかな時間、瞬間のために努力を惜しまないのである。もしかしたら、「養花四年」どころか「養花十年」も十分あり得るのである。

子どもたちのことを考えてみるとどうだろう。部活動の場合も3年生の最後の大会となれば「養花三年、看花一日」だったり、勝ち進んで「看花十日」ぐらいだろうか。入試ともなれば「養花三年、看花一日」である。わずか一日のために三年間があることになる。その一日を花咲く一日とするために「養花三年」ができるかどうか、それが問題なのである。日々の積み重ねが大切とは言いながら、当然山あり谷ありの三年間となるにちがいない。トータルとして「養花三年」になればいいと思う。子どもは新入生を迎えると、三年後の姿を思い描き、指導計画を練る。まさに「養花三年」の思いである。その間、一喜一憂の連続である。私たちは何がうれしいといって、子どもたちのがんばる姿を見ることであり、何が悲しいといって、子どもたちの悲しい思いでいる姿を見ることである。そんな紆余曲折（うよきよせつ）の三年間ののち、卒業式という「看花一日」を迎えるのである。思い描いた以上の成長を遂げて巣立っていく子どもたちの多い学年もあれば、その逆に卒業後のことを心配しなければならない子どもたちの多い学年もある。同じように「養花三年」の思いで指導したつもりであってもである。

3年生には仕上げの一年、学校の顔としての頑張りが期待されるし、2年生には中堅学年としてのステップアップが期待される。新入生には、引地台中学校のよき伝統を受け継ぐ一員となって自覚を持つことが期待される。私たち教職員も子どもたちとともに、それぞれ「養花一年」、「養花二年」、「養花三年」の思いで日々を過ごせたらと思う。

<small>し き うた</small> 四季の詩 <small>く 学年・学級担当等</small> 〉本年度、お世話になるそれぞれの学年の先生方です。	入学児 母をはなれて 列にあり（静子）	親にとっても子にとっても、特に印象深いのは小学校の入学であろう。真新しい服にランドセル、まさにピカピカの一年生である。ただ、不安な思いはもちろんある。その不安がこの句には詠み込まれている。と同時に、母親を離れて列にならんでいるこどもへの誇らしさのような思いも感じられる。そんな微妙な母親の思いがこの句の命なのだろう。このあと、中学校、高校、大学と入学式を経験するにちがいないが、小学校のそれにまさるものはきっと叶わないに違いない。そんなことを考えながら、自分の入学式を思い起こそうとしたが・・・叶わなかった。小、中、高ともにてある。ああ・・・。
--	---------------------	--

	1 年 年		2 年 年		3 年 年	
主任	太 田 正 孝	保体	今 井 成 隆	社会	小 原 正 康	社会
1組	花 島 陽 子	数学	宮 原 隆 夫	美術	相 原 康 人	数学
2組	田 中 良 治	理科	清 水 恭	数学	米 山 文 恵	家庭
3組	山 田 良 子	音楽	日 和 白 峰	国語	佐 野 美津子	国語
4組	田 川 隆 司	数学	菊 地 敬 幸	技術	小 澤 裕 之	保体
5組	竹 内 由 紀	社会	手 塚 志津代	国語	白 石 篤	音楽
6組	福 嶋 良 彦	理科	和 田 貢 一	理科	笹 本 雪 子	美術
7組	/		関 野 旬 哉	英語	/	
学 担 外	渡 邊 昭 夫 長谷川 絵里子 鈴木 健之	国語 英語 数学	田 澤 喜三代 関 口 早 苗 望 月 芳 房	数学 保体 社会	佐 藤 浩 二 大 角 憲 一 大 迫 倫 子 雙 田 みはる	技家 理科 英語 保体
特支	林 光 美(情緒)		菅 瑞 穂(知的)		中 村 孝 夫(情緒)	
国際			関 口 早 苗(保体)			
校 長	保 田 完 次		教 頭 松 澤 康 廣		教務主任 日 比 和 子	
生指主任	西 舘 健 吾		養護教諭 村 木 悦 子		初任指導 綱 嶋 清 博	
事務主幹	青 木 孝 夫		事務主査 柿 本 みゆき		庁 務 員 安 齋 威 道	
スクールカウンセラー	斎 藤 悦 子		スクールスタッフ 草 野 はるか		心の教室相談員 佐 野 元 美	
日本語指導員	薬師寺 美 穂					

『心の相談室』の利用について

今年度も「心の教室」（1階生徒昇降口前）の活動がスタートしています。「心の教室」は、学校や家庭生活の上で生じている生徒に関わる悩みや困ったことを、専門の資格と知識を持った相談員さんやカウンセラーさんに聞いていただいたり、相談したりする場所です。生徒も利用できますが、保護者の方の相談は、以下の曜日と時間で随時電話にて予約を申し受けます。

予約方法：電話(046-267-0535)予約をし、心の教室を呼び出していただき、相談予約。
 開室日時：月・水曜日(9:30～16:30)・・・佐野 元美 心の相談員
 第2・4金曜日(9:00～16:00)・・・斎藤 悦子 スクールカウンセラー